



# 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（案）の概要

※公立中学校等における運動部活動を対象

運動部活動の  
意義と課題

意義

- 生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

課題

- 近年、特に**持続可能性**という面で厳しさを増しており、中学校生徒数の減少が加速化するなど**深刻な少子化が進行**。〈生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和3年84万人〉
- 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担**。〈土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増〉
- 地域では、**スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない**。

これまでの  
対応

- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）：令和5年度以降、**休日の部活動の段階的な地域移行**を図る
- 中教審や国会等：「部活動を学校単位から**地域単位の取組**とする」旨指摘

目指す  
姿勢

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、**自発的な参画**を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

改革の  
方向性

- まずは、**休日の運動部活動から段階的に地域移行**していくことを基本とする
- 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途**  
（合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す）
- 平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**
- 地域における**スポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等**にも着実に取り組む
- 地域の**スポーツ団体等と学校との連携・協働の推進**  
※改革を推進するための「**選択肢**」を示し、「**複数の道筋**」があることや、「**多様な方法**」があることを強く意識



課題への  
対応

新たなスポーツ環境

- ・地域の実情に応じ、多様なスポーツ団体等が実施主体
- ・特定種目だけでなく、生徒の状況に適した機会を確保

スポーツ団体等

- ・先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供
- ・必要な予算の確保やtoto助成を含む多様な財源確保の検討

スポーツ指導者

- ・指導者資格の取得や研修の実施の促進
- ・部活動指導員の活用、教師等の兼職兼業、人材バンク
- ・指導者の確保のための支援方策の検討

スポーツ施設

- ・学校体育施設活用に係る協議会の設置、ルールの方策
- ・スポーツ団体等に管理を委託

大会

- ・大会主催者に対し、地域のスポーツ団体等の参加も認めるよう要請
- ・地域のスポーツ団体等も参加できる大会に対して支援

会費や保険

- ・困窮する家庭へのスポーツに係る費用の支援方策の検討
- ・スポーツ安全保険が、災害共済給付と同程度の補償となるよう要請

学習指導要領等

- ・部活動の課題や留意事項等について通知、学習指導要領解説の見直し、次期改訂時の見直しに向けた検討
- ・部活動等から伺える個性や意欲・能力を入試全体を通じ多面的に評価
- ・教師の採用で部活動指導の能力等を過度に評価していれば、見直す

※国立の中学校等でも、学校等の実情に応じて積極的に取り組むことが望ましい。

※公立及び国立の高等学校等については、義務教育を修了し進路選択した高校生等が自らの意思で選択している実態等があるが、各学校の実情に応じて改善に取り組むことが望ましい。

※私立学校でも、学校等の実情に応じて適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

# 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（案）の概要【各論】



## ○地域における新たなスポーツ環境の在り方とその構築方法等（第2章）

参加者	全ての希望する生徒を想定。
実施主体	地域の実情に応じて、実施主体として <b>多様なスポーツ団体等</b> （総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、フィットネスクラブ、大学等）を想定しながら対応。 <b>学校関係の組織・団体</b> （地域学校協働本部や保護者会等）も想定。
活動内容	特定の運動種目に専念する活動だけでなく、休日等におけるスポーツ体験教室や体験型キャンプ、レクリエーション活動、複数の運動種目を経験できる活動、障害の有無に関わらず誰もが参加できる活動など、 <b>生徒の状況に適した機会を確保</b> 。適切な活動日数や活動時間とする。
活動場所	既存のスポーツ団体の施設や公共の運動施設の他、地域の中学校をはじめ <b>学校の体育施設</b> なども積極的に活用。
構築方法等	<b>まずは休日</b> について着実に進めた上で、 <b>次のステップとして平日</b> に取り組むことを基本とする。地域の実情等に応じて平日と休日を一体として構築するなどもあり得る。 <b>市町村において</b> 、地域スポーツ担当部署や学校の設置・管理運営を担う担当部署、地域スポーツ団体、学校等の関係者からなる <b>協議会を設置</b> し、活動の実施主体やスケジュールなどを検討し実行。＜令和4年度から令和6年度の取組を例示＞

### 【具体的課題への対応】

現状と課題		求められる対応
スポーツ団体等の整備充実（第3章）	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの地域においても、受け皿となるスポーツ団体等の整備充実が必要だが、地域スポーツ団体と中学校等との連携が十分でないところが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国は各地方自治体における取組の参考となるよう、連携や支援の在り方について<b>先進的に取り組んでいる事例をまとめ提供</b>。</li> <li>中学生を受け入れるスポーツ団体等について、<b>必要な予算の確保やスポーツ振興くじ（toto）助成を含めた多様な財源の確保による国の支援</b>も検討。地域の実情に応じた支援体制の整備。</li> </ul>
スポーツ指導者の質・量の確保方策（第4章）	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性や資質を有する指導者の量を確保する必要がある。</li> <li>教師等の中には専門的な知識や技量、指導経験があり、地域でのスポーツ指導を強く希望する者もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>指導者資格の取得や研修の実施の促進</b>。JSPOは、競技団体等が主催する大会において、公認スポーツ指導者資格の取得を義務付け。</li> <li><b>部活動指導員の活用や、教師等による兼職兼業、企業・クラブチームや大学からの指導者の派遣、地域のスポーツ団体等と連携した人材バンクの設置</b>など。<b>指導者の確保（適切な対価の支払い等）のための国の支援方策</b>の検討。</li> <li>希望する教師が円滑に兼職兼業の許可を得られるよう、国は<b>許可の対象となり得る例を周知</b>するとともに、教育委員会は<b>兼職兼業の運用に係る考え方等を整理</b>。</li> </ul>
スポーツ施設の確保方策（第5章）	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共スポーツ施設やスポーツ団体・民間事業者等が有するスポーツ施設だけでは足りない地域も想定される。</li> <li>スポーツ団体等が学校体育施設を利用する場合、施設管理を学校が行うと負担が増大するおそれがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>学校体育施設の活用</b>を促進するため、地方自治体やスポーツ団体等が連絡・調整するための協議会を設立し、<b>利用ルール等の策定や、利用の割り当ての調整</b>を行う。</li> <li>施設利用の促進・学校の負担軽減のため、放課後や休日の学校体育施設の管理を、指定管理者制度を活用するなどして<b>スポーツ団体等に委託</b>。</li> </ul>

現状と課題	求められる対応
<p><b>大会の在り方</b> (第6章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会の参加資格が学校単位に限定され、地域のスポーツ団体等の参加は認められていないものがある。</li> <li>・中体連と競技団体が主催する全国大会が併存。全国大会ではより上を目指そうとして練習の長時間化・過熱化による怪我や故障、行き過ぎた指導等を招いている。</li> <li>・休日の大会参加の引率に負担を感じている教師もいる。大会運営の多くを教師が担っている実態がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度以降は、<b>国は、地域のスポーツ団体等も参加できる大会に対して、引き続き支援。</b>地方自治体においても支援の在り方を見直し。</li> <li>○ 地域において、自分なりのペースでスポーツに親しみたい生徒や複数の運動種目を経験できる活動に参加している生徒等の<b>成果発表の場としてふさわしい大会を整備。</b></li> <li>○ 生徒の心身の負担や保護者の金銭負担が過重にならないよう、国からスポーツ団体等に対し、<b>全国大会の開催回数の精選</b>を要請。スポーツボランティアの活用。</li> <li>○ 大会運営は主催者である団体等の職員により担われるべきであり、国から団体等に対し、<b>大会運営体制について適切に見直す</b>ことを要請。</li> </ul>
<p><b>会費の在り方</b> (第7章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツに支払う会費が保護者にとって大きな負担となると躊躇する恐れ。</li> <li>・経済的に困窮する家庭においては会費を支払うことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>学校施設の低額での貸与など地方自治体や国からの支援、地元企業の施設の利用や用具の寄付等</b>の支援。</li> <li>○ 例えば、<b>地方自治体における困窮する家庭へのスポーツに係る費用の補助</b>や、地元企業からの寄附等による基金の創設などの取組に関し、<b>国による支援方策</b>も検討。</li> </ul>
<p><b>保険の在り方</b> (第8章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行後も安心して地域でスポーツ活動に参加できるよう、生徒や指導者が怪我等をしても十分な補償を受けられるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国は、JSPOや各競技団体を通じて、地域のスポーツ団体等に対して、指導者や会員の保険加入を強く促す。</li> <li>○ <b>スポーツ安全保険</b>について、<b>災害共済給付と同程度の補償</b>となるよう、国からスポーツ安全協会に補償内容の充実を要請。</li> </ul>
<p><b>関連諸制度等の在り方</b> (第9章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で運動部活動が運営され、教師が顧問となって指導を担うことが前提となっている関連諸制度について、地域でスポーツ活動に参加する生徒が増えていく状況にふさわしいものに、見直していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>学習指導要領</b>：部活動の課題や留意事項等について通知・学習指導要領総則解説編に明記。<b>次期改訂時</b>（注：今回は平成29年に改訂）に、学校は、<b>地域で行われるスポーツ団体等と連携・協働を深める</b>ことを規定することなどの見直しを検討。</li> <li>○ <b>高校入試</b>：部活動の活動歴や大会成績のみではなく、<b>部活動からうかがえる生徒の個性や意欲、能力</b>について、調査書のみならず生徒による自己評価資料、面接や小論文など<b>入試全体を通じて多面的に評価。</b></li> <li>○ <b>教師の採用</b>：部活動指導に係る意欲や能力等について、採用選考にあたり評価したり、人事配置において<b>過度に評価していることがあれば、適切に見直し。</b></li> </ul>

※**地域移行が進められている間の学校における運動部活動の見直し（第10章）**

運動部活動の地域移行を段階的に進めつつも、**現在行われている学校の運動部活動についても、引き続き速やかな改革**が求められる。  
 （誰もが参加しやすい活動、複数の活動を経験できる活動日数や時間、指導体制の見直し、地域スポーツ団体等との連携・協働）

令和5年度からの全国中学校体育大会への地域スポーツ団体等の参加条件について

「全国中学校体育大会運営の基本と大会開催基準」「9 引率監督 参加資格の特例」の追加

◎地域スポーツ団体等に所属する中学生

(1) 地域スポーツ団体等に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

(2) 全国中学校体育大会に参加を希望する地域スポーツ団体等は以下の条件を具備すること。

① 全国中学校体育大会の参加を認める条件

ア (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。

ウ 地域スポーツ団体等にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

エ 『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』(平成30年3月スポーツ庁発出)の「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休養日等の設定」を遵守していること。

オ 都道府県中学校体育連盟に加盟もしくは認定されていること(加盟費については、都道府県中学校体育連盟の判断に委ねる)。

カ 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

キ 地域スポーツ団体等で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

② 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

ア 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 全国中学校体育大会参加に際して、地域スポーツ団体等においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること(引率細則は適用する)。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

ウ 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

エ 団体競技における地域スポーツ団体名での出場は1チームのみとする(複数のチームの参加はできない)。

③ 参加を認めない場合

ア 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※1 上記特例については、競技部ごとに大会参加に関する細則を加えることができる。

※2 上記特例については、今後も検討を続けていく。



2022年7月11日 16時

報道関係各位

公益財団法人 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

## ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 新会期決定について(プレスリリース)

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会は、関西大会の再度延期に伴う会期の調整につきまして昨年 10 月の再延期方針決定以来、国際マスターズゲームズ協会（IMGA）との協議を重ねてまいりました。

この度、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の再延期後の会期について、IMGA と組織委員会が合意いたしましたのでお知らせいたします。

- ・新会期 : 2027 年 5 月
- ・経緯 :
  - ・組織委員会としては、「2026 年 5 月開催」を目指していました
  - ・何度も IMGA と協議を重ねて参りましたが、先日、IMGA から「2026 年 5 月開催」を承諾する考えはなく、会期についてこれ以上協議はしない旨の強い態度表明がありました
  - ・ホストシティ契約上、会期の最終決定権は IMGA にあり、協議を継続しても我々の提案が承認される見込みがないことから、これ以上協議のために時間を費やすことを避け、「2027 年 5 月開催」で合意することといたしました。

スポーツを愛する多くの人々の期待に応え、大会の成功を期したいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【 報道関係者からのお問い合わせ先 】

公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局 担当：高橋、上村  
TEL：06-6446-2021 FAX：06-6445-8541 Mail：[information@wmg2021.jp](mailto:information@wmg2021.jp)

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 メジャーパートナー (2022 年 5 月現在)



# 国際マスターズゲームズ協会との交渉状況

## I. IMGA との交渉経緯

2021.10.26 WMG 関西組織委理事会で再延期の方針決定

- ・安心して参加できる環境が整うまで再度延期することが妥当
- ・関連競技大会等の計画を踏まえ「2026年5月開催」でIMGAと交渉
  - 2023年 アジアパシフィックマスターズゲームズ(韓国・全羅北道)
  - ヨーロピアンマスターズゲームズ(フィンランド・テンペレ)
  - 2024年 パンアメリカンマスターズゲームズ(アメリカ・クリーブランド)
  - 2025年 ワールドマスターズゲームズ(台北市・新北市)
  - 2026年 アジアパシフィックマスターズゲームズ(開催地未定)
  - 2027年 ヨーロピアンマスターズゲームズ(開催地未定)
  - 2028年 パンアメリカンマスターズゲームズ(開催地未定)
  - 2029年 ワールドマスターズゲームズ(開催地未定)

2021.11.15 IMGA 総会で関西大会の再延期承認

- ・再延期後の会期については両組織会長による協議を継続

2021.12.01 第1回会長協議

- ・IMGAの主張 2022年秋開催の可能性を模索
- ・関西の主張 2022年秋は不可能(コロナ禍、準備期間)

2022.03.29 第2回会長協議

- ・IMGAの主張 2022年秋の開催は断念、2027年5月開催を提案
  - ①2026年はアジアパシフィックマスターズゲームズの開催年、開催都市選定が不可能
  - ②2025年台湾大会との連続開催となり両大会の参加者数等に悪影響
  - ③国際的な大会のバランスを考えると25年台湾、27年関西、29年(未定)の開催がベスト
- ・関西の主張 2026年5月開催がベスト
  - ①世界大会と地区大会の順序の問題であればアジア大会を2027年に開催してはどうか
  - ②世界大会のアジア連続開催成功に向け台湾・関西の連携による相乗効果が期待できる
  - ③25年大阪・関西万博での広報誘客事業が可能、27年開催では国内サポート体制に影響

2022.05.24 IMGA 理事会で関西大会の会期を協議

- 2022.06
- ・IMGAから「2026年5月開催」を承認する考えはなく、会期についてこれ以上協議はしない旨の強い態度表明があった
  - 次の理由から、IMGAが提案する「2027年5月開催」を受諾することとした
    - ① 最終決定権はIMGAにあり、交渉を継続しても関西の提案が承認される見込みがない
    - ② 「2026年5月開催」を貫くと、世界大会開催権が失効する

2022.07

- ・WMG 関西組織委員会で、再延期後の会期を「2027年5月開催」とし、IMGAに提案すること等を書面で決議(別紙参照)。

2022.07

- ・IMGAとの間で新会期を「2027年5月開催」とすることで合意

※開催月日については、IMGA理事会の承認事項となっており、確定次第、公表いたします。

## ワールドマスターズゲームズ関西の再延期後の会期及び 大会開催方針について

### 1 再延期後の会期（案）

「2027年5月開催」とし、IMGAに提案する

### 2 再延期後の大会開催方針（案）

- (1)大会名 ワールドマスターズゲームズ 2027 関西
- (2)開催期間 2027年5月14日(金)～30日(日)(17日間)
- (3)開催競技 公式競技 35 競技 59 種目、
- (4)開催場所 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市の13府県政令市
- (5)目標参加者数 国内 30,000人、海外 20,000人
- (6)主催 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会  
府県政令市実行委員会及び開催市町実行委員会
- (7)共催 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- (8)後援 スポーツ庁

## 第22回全国障害者スポーツ大会 日程・会場一覧

実施競技等	種別	会場地	競技会場	競技日程			
				10月			
				29 土	30 日	31 月	
開会式		宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)	●			
閉会式		宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)			●	
個人競技	陸上競技	身・知	宇都宮市	カンセキスタジアムとちぎ(栃木県総合運動公園陸上競技場)	●	●	●
	水泳	身・知	宇都宮市	日環アリーナ栃木屋内水泳場(栃木県総合運動公園屋内水泳場)	●	●	●
	アーチェリー	身	那須烏山市	那須烏山市緑地運動公園多目的競技場		●	
	卓球 (サウンドテーブルテニスを含む)	身・知・精	鹿沼市	TKCいちごアリーナ(鹿沼総合体育館)	●	●	●
	フライングディスク	身・知	栃木市	栃木市総合運動公園陸上競技場	●	●	●
	ボウリング	知	足利市	足利スターレーン	●	●	
	ボッチャ	身	那須塩原市	三和住宅にしなすのスポーツプラザ(にしなすの運動公園)体育館	●	●	
団体競技	バスケットボール	知	宇都宮市	日環アリーナ栃木メインアリーナ(栃木県総合運動公園メインアリーナ)	●	●	
	車いすバスケットボール	身	小山市	栃木県立県南体育館	●	●	
	ソフトボール	知	大田原市	美原公園野球場・第2球場	●	●	
	グラウンドソフトボール	身	宇都宮市	宇都宮市屋板運動場運動広場	●	●	
	バレーボール	身	宇都宮市	宇都宮市清原体育館	●	●	
		知	宇都宮市	宇都宮市体育館	●	●	
		精	佐野市	佐野市アリーナたぬま	●	●	
	サッカー	知	真岡市	真岡市総合運動公園陸上競技場・運動広場1	●	●	●
フットベースボール	知	足利市	ジェットブラックフラワーズスタジアム(足利市総合運動場硬式野球場)エコアールグリーン球場(足利市総合運動場軟式野球場)	●	●		

## オープン競技

競技	種別	会場地	競技会場	競技日程		
				10月		
				29 土	30 日	31 月
卓球バレー	身・知・精	宇都宮市	わかくさアリーナ(とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター)	10/2(日)		
車椅子ダンス	身	栃木市	関東ホーチキにしかた体育館(栃木市西方総合文化体育館)		●	
スポーツウエルネス吹矢	身	さくら市	さくら市氏家体育館	●		

## 和歌山県スポーツ推進計画（2018(平成30)年4月策定）の見直し （改訂）スケジュール等について

### 1 計画策定から5年後（令和4年度末）の見直し（改訂）スケジュール【別添1】

[本計画第1章「2 計画の正確及び期間(4)抜粋]

和歌山県スポーツ推進計画は、2018(平成30)年度から概ね10年間のスポーツ推進に関する施策の基本的方向と具体的な方策を明らかにした計画としますが、スポーツ基本計画が2021(令和3)年度、和歌山県教育振興基本計画が2022(令和4)年度に見直しが行われることを踏まえ、策定から5年後を目途に、これらの計画の新たな策定状況及び計画期間中における成果や課題、社会情勢の変化などを検証した上で見直しを行います。

[関係計画]

- ・第3期スポーツ基本計画（2022(令和4)年3月策定）
- ・和歌山県長期総合計画（2017(平成29)年4月策定）
- ・和歌山県教育振興基本計画（2023(令和5)年3月策定予定）

### 2 計画の進捗状況【別添2】

本計画の各項「(2) 指標」について、5年後の主に「2027(令和9)年」目標値を設定する必要がある。

### 3 「第3期スポーツ基本計画（2022(令和4)年3月策定）」等による本計画の見直し 検証【別添3】

- ・スポーツ基本計画に基づくスポーツの推進に当たり取り組んでいただきたい点について（令和4年4月28日付けスポーツ庁政策課事務連絡）
- ・第3期スポーツ基本計画（概要版）
- ・第3期スポーツ基本計画



## 和歌山県スポーツ推進計画の進捗状況

### 計画のめざす社会

全ての県民一人一人が、それぞれのライフステージにおいて、関心・適性等に応じ、自主的・自発的にスポーツとふれあい、日常的にスポーツに親しむ、楽しむ、支えるなどの活動を通じて、生涯にわたり生活の質の向上が図れる社会の実現をめざします。

基本方針	政策目標	指標	基準値 (平成28年度)	目標値 (令和4年度)	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	目標値 (令和9年度)
学校と地域における子供のスポーツ環境の充実	幼少期から、子供の運動への興味・関心を高めるとともに、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育み、豊かなスポーツライフを実現する基礎づくりを行います。	全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小学校5年生)の全国順位	男12位 女12位 (平成29年度)	男女とも 10位以内	男16位 女11位	男16位 女15位	—	男18位 女20位	(※12月末確定)	
		全国体力・運動能力、運動習慣等調査(中学校2年生)の全国順位	男33位 女29位 (平成29年度)	男女とも 15位以内	男25位 女21位	男23位 女12位	—	男35位 女22位	(※12月末確定)	
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	県民の誰もが、それぞれの体力、年齢、技能、興味及び目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。	成人の週1回以上のスポーツ実施率	46.0%	65%	—	—	—	52.2%	(※12月末確定)	
世界の舞台で活躍できる競技者の発掘・育成・強化	本県トップアスリートが、オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会等の国際舞台で活躍することにより、子供がスポーツに対する夢や憧れを抱き、スポーツに取り組むきっかけとなり、次世代のトップアスリート育成につながります。 紀の国わかやま国体などで活躍した競技者を優秀な指導者として育成し、次世代のトップアスリートを輩出していくという好循環を生み出し、競技力の向上と競技人口の拡大を図ります。	オリンピック・パラリンピック競技大会における本県関係者の出場者数	9名	10名以上	—	—	—	13名	(※6年度)	
		国民体育大会男女総合成績	26位 (平成29年度)	20位台	27位	22位	—	—	(※10月中旬確定)	
		全国高等学校総合体育大会での入賞種目数	39種目 (平成29年度)	50種目	28種目	30種目	—	41種目	(※8月下旬確定)	
全国大会・国際大会の開催及び国際競技大会等に係るキャンプの誘致による県民のスポーツに対する意識や関心の向上と県内各地域の活性化	トップレベルのスポーツに身近に触れられる機会をより多く創出することで県民のスポーツに対する意識や関心を一層高めるとともに、スポーツによる地域の活性化につなげます。	国内外ナショナルチーム等のキャンプ年間誘致数	5件	10件	10件	8件	4件	12件	(※3月末確定)	

事務連絡  
令和4年4月28日

各都道府県・指定都市スポーツ主管課 御中

スポーツ庁政策課

## スポーツ基本計画に基づくスポーツの推進に当たり 取り組んでいただきたい点について

3月25日に策定した第3期スポーツ基本計画については、同日通知にてお知らせしていたところです。

その際、地方公共団体向けに取り組んでいただきたい点を抜粋した資料等が完成し次第、追ってお送りする旨お伝えしておりましたが、このたびスポーツ施策の推進にあたり、各地方公共団体において取り組んでいただきたい点を以下のとおり抜粋しましたので、改めてご確認いただくとともに、別紙に記載の各制度・事業等もぜひご活用ください。

加えて、第3期計画を参酌してできる限り速やかに地域スポーツ推進計画を改定・策定いただくようお願いいたします。

### 多様な主体におけるスポーツの機会創出

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会の構築が期待されます。

### スポーツ界におけるDXの推進

スポーツ界においてDXを導入することで、様々なスポーツに関する知見や機会を国民・社会に広く提供することを可能とし、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性が高まることが期待されます。

### スポーツの国際交流・協力

スポーツの国際交流・協力を進めることで、スポーツ界における我が国の国際的な位置づけを高めるとともに、スポーツを通じた国・地域・人々のつながりが強まることが期待されます。

### スポーツによる健康増進

地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、関係省庁で連携しつつ、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現を目指すとともに、スポーツ実施率の向上を通じ、厚生労働省の策定する「健康日本21」に掲げる健康寿命の延伸が期待されます。

### スポーツによる地方創生、まちづくり

全国各地で特色ある「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出させ、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持を更に広げ、競技振興と地域振興の好循環の実現が期待されます。

### スポーツの成長産業化

スポーツ市場を拡大し、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大につなげるという好循環を生み出すことにより、スポーツ市場規模 5.5 兆円を 2025 年までに 15 兆円に拡大することを目指します。

### スポーツを通じた共生社会の実現

誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を通じ、スポーツを軸とした共生社会の実現が期待されます。

### スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」

場づくりや環境の構築、スポーツに関わる人材の育成等を進めることで、国民がスポーツに親しむ上で不可欠となる「ハード（場づくり）」「ソフト（環境の構築）」「人材」といった基盤の確保・強化が期待されます。

### スポーツを実施する者の安全・安心の確保

スポーツを実施する者が、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われたりすることがないように、スポーツを実施する者の心身の安全・安心を確保します。

域内の市区町村等関係機関及び関係団体に対してもこの旨周知をお願いします。  
ご不明点等ございましたら、各担当部署にお問い合わせください。

#### 【スポーツ基本計画】

URL : [https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299\\_20220316\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_3.pdf)

#### 【第3期スポーツ基本計画特設HP】

URL : [https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/1372413\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00001.htm)

#### 【本件連絡先】

スポーツ庁政策課企画調整室政策調整係  
電 話 : 03-5253-4111 (内線 3936)  
メール : sseisaku@mext.go.jp

## 活用できる主な制度・事業等（令和4年4月時点）

### 多様な主体におけるスポーツの機会創出

- ・ Sport in Life プロジェクト

一人でも多くの方がスポーツを楽しみ、スポーツを通じた健康増進やいきいきとした生活の実現に資するよう、生活の中にスポーツが取り込まれている「Sport in Life」の実現に向けた取組を、地方公共団体、スポーツ団体、経済団体等と連携して進めます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1396542\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1396542_00001.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・ 運動・スポーツ習慣化促進事業

地方公共団体が地域の実情に応じて、住民が安心・安全かつ効果的な健康づくりのための楽しい運動・スポーツを習慣的に実施するための、スポーツを通じた健康増進に資する取組を支援します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399182.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399182.htm)

（スポーツによる地域活性化推進事業）

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・ 障害者スポーツの推進に係る各種取組

障害者が生涯にわたってスポーツを実施するための基盤を整備するため、身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等のための障害者のスポーツ実施状況の把握やモデル事業の創出等を行います。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop06/list/1371929.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop06/list/1371929.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室

- ・ 国民のスポーツライフ全般

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/1371876.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/1371876.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・ 障害者スポーツ全般

障害者のスポーツ実施率が成人一般よりも低くなっている状況を踏まえ、障害の有無等を問わず、広く人々がスポーツに参画できる環境を整備するとともに、障害者スポーツの関心を高め、障害者スポーツの裾野を広げていくための取組を行います。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop06/1371877.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop06/1371877.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室

- ・運動部活動改革

中学校等の青少年にとってふさわしいスポーツ環境の実現を目指し、まずは休日部活動の運営主体を学校から地域へ移行することを着実に実施します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop04/list/1405720.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1405720.htm)

【担当部署】 スポーツ庁地域スポーツ課

- ・体育・保健体育の授業の充実

現行の学習指導要領では、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育てることや体力の向上を図ることをねらいとして、小学校から高等学校までを見通して、指導内容の系統化や明確化を図っています。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop04/list/1398875.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1398875.htm) (学習指導要領)

【担当部署】 スポーツ庁政策課企画調整室

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査

この調査は、国が全国的な子供の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的としています。教育委員会や学校においても、状況の把握とともに、関連施策の充実・改善にお役立てください。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/toukei/kodomo/zencyo/1368222.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1368222.htm)

【担当部署】 スポーツ庁政策課企画調整室

- ・アクティブ・チャイルド・プログラム

子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせるようにするため、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムを開発し、指導現場への普及を図ります。

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/acp/> ((公財) 日本スポーツ協会 HP)

【担当部署】 スポーツ庁地域スポーツ課

- ・幼児期運動指針

幼児期に獲得しておくことが望ましい基本的な動きや、生活習慣及び運動習慣を身に付けるための効果的な取組などに関してまとめた指針を策定し、現場への活用を促進します。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/undousisin/1319771.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/undousisin/1319771.htm)

【担当部署】 スポーツ庁地域スポーツ課

- ・スポーツ少年団

一人でも多くの青少年がスポーツを楽しみ、スポーツを通して青少年のこころとからだを育成するとともに、スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献するスポーツ団体の充実を図ります。

<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid66.html> ((公財) 日本スポーツ協会 HP)

【担当部署】 スポーツ庁地域スポーツ課

- ・総合型地域スポーツクラブ

人々が多世代・多種目にわたり、身近な地域でそれぞれの志向・レベルに合わせてスポーツに親しむことができるとともに、地域スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりが図れるよう、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブの運営体制の強化を図ります。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1371972.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1371972.htm)

<https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid67.html> ((公財) 日本スポーツ協会 HP)

【担当部署】 スポーツ庁地域スポーツ課

- ・女性のスポーツ参加

女性のスポーツ実施率が男性よりも低くなっていることを踏まえ、女性特有の健康課題も踏まえつつ、女性のスポーツ参加促進に向けた取組を進めます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop11/list/jsa\\_00040.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop11/list/jsa_00040.html)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・FUN+WALK PROJECT

ビジネスパーソンのスポーツ参画人口拡大に向け、普段の生活から気軽に取り入れることのできる「歩く」ことに「楽しい」を組み合わせることで、自然と「歩く」習慣が身につくような取組を進めます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1396542.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1396542.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・感動する大学スポーツ総合支援事業

安全安心な大学スポーツ環境の確立促進等の「大学スポーツ自体の振興」と、大学スポーツの資源を活用した「大学スポーツによる地域振興」とを総合的に支援し、「感動する大学スポーツ」の実現を目指します。

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021306\\_20220317\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021306_20220317_3.pdf)

【担当部署】 スポーツ庁地域スポーツ課

- ・スポーツエールカンパニー

従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定し、社員がスポーツに親しめる環境づくりを進めることで、「働き盛り世代」をはじめとした国民全体のスポーツ実施率の向上につなげます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1399048.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1399048.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

## スポーツの国際交流・協力

### ・ポストスポーツ・フォー・トゥモロー推進事業

東京 2020 大会の開催国として、スポーツを通じた国際協力及び交流等に官民協力で取り組んできた「スポーツ・フォー・トゥモロー (SFT)」プログラムによるレガシー (裨益者数: 204 か国・地域、約 1,300 万人) を発展させ、国際的に日本のスポーツの存在感を示すとともに、国際的な課題である持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献するため、官民協力による取組を先導し SFT の成果を国内還元するポスト SFT 事業を推進します。

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021330\\_20220317\\_5.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021330_20220317_5.pdf)

<https://www.sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/> (SPORT FOR TOMORROW)

<https://www.youtube.com/channel/UCJOYeNg3TDwuqoLg08Rit2w/videos> (SPORT FOR TOMORROW YouTube チャンネル)

【担当部署】 スポーツ庁参事官 (国際担当)

## スポーツによる健康増進

### ・Sport in Life プロジェクト (再掲)

一人でも多くの方がスポーツを楽しみ、スポーツを通じた健康増進やいきいきとした生活の実現に資するよう、生活の中にスポーツが取り込まれている「Sport in Life」の実現に向けた取組を、地方公共団体、スポーツ団体、経済団体等と連携して進めます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1396542\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1396542_00001.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

### ・運動・スポーツ習慣化促進事業 (再掲)

地方公共団体が地域の実情に応じて、住民が安心・安全かつ効果的な健康づくりのための楽しい運動・スポーツを習慣的に実施するための、スポーツを通じた健康増進に資する取組を支援します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399182.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/detail/1399182.htm)

(スポーツによる地域活性化推進事業)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

### ・国民のスポーツライフ全般 (再掲)

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/1371876.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/1371876.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・女性のスポーツ参加（再掲）

女性のスポーツ実施率が男性よりも低くなっていることを踏まえ、女性特有の健康課題も踏まえつつ、女性のスポーツ参加促進に向けた取組を進めます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop11/list/jsa\\_00040.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop11/list/jsa_00040.html)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・スポーツエールカンパニー（再掲）

従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定し、社員がスポーツに親しめる環境づくりを進めることで、「働き盛り世代」をはじめとした国民全体のスポーツ実施率の向上につなげます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1399048.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1399048.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

## スポーツによる地方創生、まちづくり

- ・スポーツ・健康まちづくりの推進

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に従い、東京大会等の「スポーツ・レガシー」としてのスポーツによるまちづくりを促進させる。その取組の一つとして、今後取り組もうとする自治体を応援するための「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を実施しています。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1384512_00001.htm)

（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略「スポーツ・健康まちづくり」）

【担当部署】 スポーツ庁参事官（地域振興担当）

- ・スポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ創出等総合推進事業

「スポーツツーリズム」等を通じ交流人口の拡大により地方創生・まちづくりを推進するため、高付加価値コンテンツの創出に向けた取組をモデル的に支援するほか、プロモーションの土台を総合的に強化します。

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021333\\_20220316\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021333_20220316_2.pdf)

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1387682.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1387682.htm)

（スポーツツーリズムの推進）

【担当部署】 スポーツ庁参事官（地域振興担当）

- ・スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手育成総合支援事業

スポーツによる地方創生・まちづくりを推進していくため、「地域スポーツコミッション」について、その「質の向上」に向け、新たな事業展開へのチャレンジ等をモデル的に支援するとともに、その運営を担う基盤人材の育成をサポートします。

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021333\\_20220316\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021333_20220316_3.pdf)

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1372561.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1372561.htm)

（地域スポーツコミッションへの支援）

【担当部署】 スポーツ庁参事官（地域振興担当）

- ・大学スポーツによる地域振興

大学が地域における重要な存在として役割を担うことができるよう、先進事例の情報提供等により、大学スポーツが有する資源（施設、人材、知的資源等）を存分に活用した地方創生を推進します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/boshu/detail/jsa\\_00111.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/boshu/detail/jsa_00111.html)

（感動する大学スポーツ総合支援事業（うち「大学スポーツによる地域振興」部分））

【担当部署】 スポーツ庁参事官（地域振興担当）

- ・地域スポーツ課周辺地域の整備と調和のとれた国立スポーツ施設の民間事業化の推進

（独）日本スポーツ振興センター（JSC）は、国立競技場の運営管理について、スタジアムを核として、周辺地域の整備と調和のとれた民間事業への移行に向けた検討を行っています。また、新秩父宮ラグビー場（仮称）の整備・運営については、民間のノウハウと創意工夫を最大限活用できるよう施設整備及び運営に民間活力を活用した事業方式により実施します。

<https://www.jpnsport.go.jp/kokuritu/>（国立競技場について）

<https://www.jpnsport.go.jp/corp/chotatu/tabid/1367/Default.aspx>

（新秩父宮ラグビー場（仮称）の整備・運営について）

【担当部署】 スポーツ庁政策課

★スポーツによる地方創生、まちづくりは、国の第3期「スポーツ基本計画」の他のテーマにも関係します。したがって、スポーツによる地方創生、まちづくりの関連施策は、以上にとどまらず、様々なものがあります。

## スポーツの成長産業化

- ・スタジアム・アリーナ改革の推進

これまでのコストセンターであったスタジアム・アリーナを、民間活力の導入により、街なか立地等の利便性向上や多機能複合型、収益力向上等を図ることで、施設を核としたまちの賑わいの創出や、周辺地域経済の活性化につながるプロフィットセンターへと転換していくスタジアム・アリーナ改革を推進しています。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop02/list/1384234.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop02/list/1384234.htm)

【担当部署】 スポーツ庁参事官（民間スポーツ担当）

## スポーツを通じた共生社会の実現

- ・ 障害者スポーツの推進に係る各種取組（再掲）

障害者が生涯にわたってスポーツを実施するための基盤を整備するため、身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等のための障害者のスポーツ実施状況の把握やモデル事業の創出等を行います。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop06/list/1371929.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop06/list/1371929.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室

- ・ 国民のスポーツライフ全般（再掲）

国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築します。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/1371876.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/1371876.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

- ・ 障害者スポーツ全般（再掲）

障害者のスポーツ実施率が成人一般よりも低くなっている状況を踏まえ、障害の有無等を問わず、広く人々がスポーツに参画できる環境を整備するとともに、障害者スポーツの関心を高め、障害者スポーツの裾野を広げていくための取組を行います。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop06/1371877.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop06/1371877.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課障害者スポーツ振興室

- ・ 女性のスポーツ参加（再掲）

女性のスポーツ実施率が男性よりも低くなっていることを踏まえ、女性特有の健康課題も踏まえつつ、女性のスポーツ参加促進に向けた取組を進めます。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop11/list/jsa\\_00040.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop11/list/jsa_00040.html)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ

## スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」

### ・誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくり総合推進事業

持続可能な地域におけるスポーツ環境を確保・充実していくため、公立スポーツ施設だけでなく、学校体育施設・民間スポーツ施設など既存ストックのフル活用、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化の推進等を総合的に実施し、誰もが気軽にスポーツに親しめる場づくりを推進します。

[https://www.mext.go.jp/sports/content/000021336\\_20220317\\_3.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/000021336_20220317_3.pdf)

【担当部署】 スポーツ庁参事官（地域振興担当）

### ・ここスポ

人々がスポーツを実施する際に手軽にアクセスできるよう、全国で開催されるスポーツイベントや施設情報等、スポーツ実施に係る情報を一元的に集約するポータルサイトを運営しています。

<https://cocospo.go.jp/>

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課

## スポーツを実施する者の安全・安心の確保

### ・スポーツ事故・スポーツ障害に関する取組：スポーツの事故防止について

国民一人一人が安心・安全に、楽しくスポーツを実施できるよう、スポーツ安全に係る情報を発信し、定期的に普及啓発を行っています。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop05/list/1372002.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop05/list/1372002.htm)

【担当部署】 スポーツ庁健康スポーツ課